

# 第7回 宇治西小倉学園 開校準備委員会 会議録

日 時 令和7年4月28日（月） 19時00分

場 所 宇治市立西小倉小学校 ランチルーム

## 会 議 日 程

1. 開会
2. 報告事項
  - ・制服の選定状況について
3. 宇治西小倉学園の教育について
4. 専門部会の取組状況の報告
  - ・校歌・校章部会
  - ・こども見守り部会
5. 専門部会毎の協議  
(専門部会毎に分かれる)
6. その他
  - ・次回日程について
7. 閉会

## 開 会 (19時00分)

### 1. 開会

杉本委員長が開会挨拶をした。

この間、3小学校(西小倉小・北小倉小・南小倉小)と西小倉中学校の授業について、とりわけ4・3・2制を意識して参観し、4・3・2のタイミングで発達上においても重要な変化があると感じた。現場の先生方も、その変化に意識を持ちながら授業をされているが、その変化の対応には戸惑いもあるという印象を持ちました。(杉本委員長)

## 2. 報告事項

### ・制服の選定状況について

手塚校長が『制服の選定状況』について説明した。

## 3. 宇治西小倉学園の教育について

芦田校長が『宇治西小倉学園の教育』について説明した。

《意見交流、質疑・応答》

委員：宇治西小倉学園の教育について話を聞かせていただき、これからの運営について具体的には、今後、検討していくこととは思う。宇治市として国語力に課題があると聞いているが、国語力は学習の基本となるので、そのことを意識してほしい。

宇治西小倉学園の施設の特徴としては、メディアセンターが回廊型の校舎の中心にあること。メディアセンターは、開放的であり、廊下などからも自由に入出りできる全国的にも珍しい造りであり、開校後には注目を集め、視察も多くあると思う。提案なのだが、開放的な図書館運営に慣れておくためにも現在の4校の図書館を扉を外すなどして開放的な運用をしてはどうか。

委員：宇治西小倉学園の教育を聞いて、意見をもらいたいということか。

委員長：宇治西小倉学園の教育についての意見をいただきたい。提案ということでもかまわない。

委員：全体の場合では意見を言いづらいこともあるので、意見を出してもらいたいのであれば、グループごとに話をしてはどうか。以前の会議でグループごとにアイデアを出して交流したと思うが、宇治西小倉学園の教育にその意見が活かされていないことが残念。先ほどの話の中に4・3・2制の話があったが、宇治市としては、4・3・2制が定着しているのか。これまでの説明会では、小中一貫校になってもカリキュラムは今とそれほど変わらないと聞いていたが。

芦田校長：カリキュラムや教える内容は、小学校、中学校で今と変更することはないが、小中学生が共に学ぶ小中一貫校の特徴を活かして小中学生が交流する機会など、4・3・2のまとまりごとの発達段階に応じた指導を行い、学びが深まるようにしていきたいと考えている。

委員：それは施設一体型だからできることではないのか。

芦田校長：一体型でなくても教職員の連携、児童生徒の交流はできるが、施設一体型だからそでできることが多くなる、と考えている。

私の子どもが施設一体型小中一貫校に通っているが、施設一体型小中一貫校の良さは小学校と中学校の先生の仲が良いところと言っていた。そういった教職員の関係がつかれるよう職員室の経営を大事にしていきたい。

委員：目指す児童生徒像の、『自ら学び考える人』の項目で、『子どもが本来持っている能動性を発揮』とあるが、1項目だけでもいいので、効果の測定とセットで考えていてはどうか。

委員：宇治西小倉学園の教育のお話を聞いて、元幼稚園園長として、幼稚園で大切にしていた遊びの中から子どもたちの気づきを学びにつなげていくといった考え方が、学校の教育でも生かされていると感じた。

#### 4. 専門部会の取組状況の報告

小川副部会長が、校歌・校章部会の取組状況について説明した。

門脇部会長が、こども見守り部会の取組状況について説明した。

#### 5. 専門部会毎の協議

(専門部会毎に分かれる)

《専門部会ごとの協議（30分）》

#### 6. その他

次回日程について

《意見交流、質疑・応答》

委員：給食センターについての説明や情報がない。今どうなっているのか、保護者や地域には、説明はあるのか。

市教委：宇治西小倉学園では、小学校も給食センターからの給食となる。今年度実施する宇治西小倉学園の学校説明会の中でも給食について説明していくように考えている。

市全体の中学校給食についても、情報発信などは行っていく予定である。

#### 7. 閉会

杉本委員長が閉会のあいさつをした。

文部科学省の授業づくり note に、サポートマガジン『みるみる』というページがあり、そこでは個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のための、様々な実践的な取組等が掲載されているので、是非、参考としてご覧いただきたい。（杉本委員長）

閉 会 （20時50分）